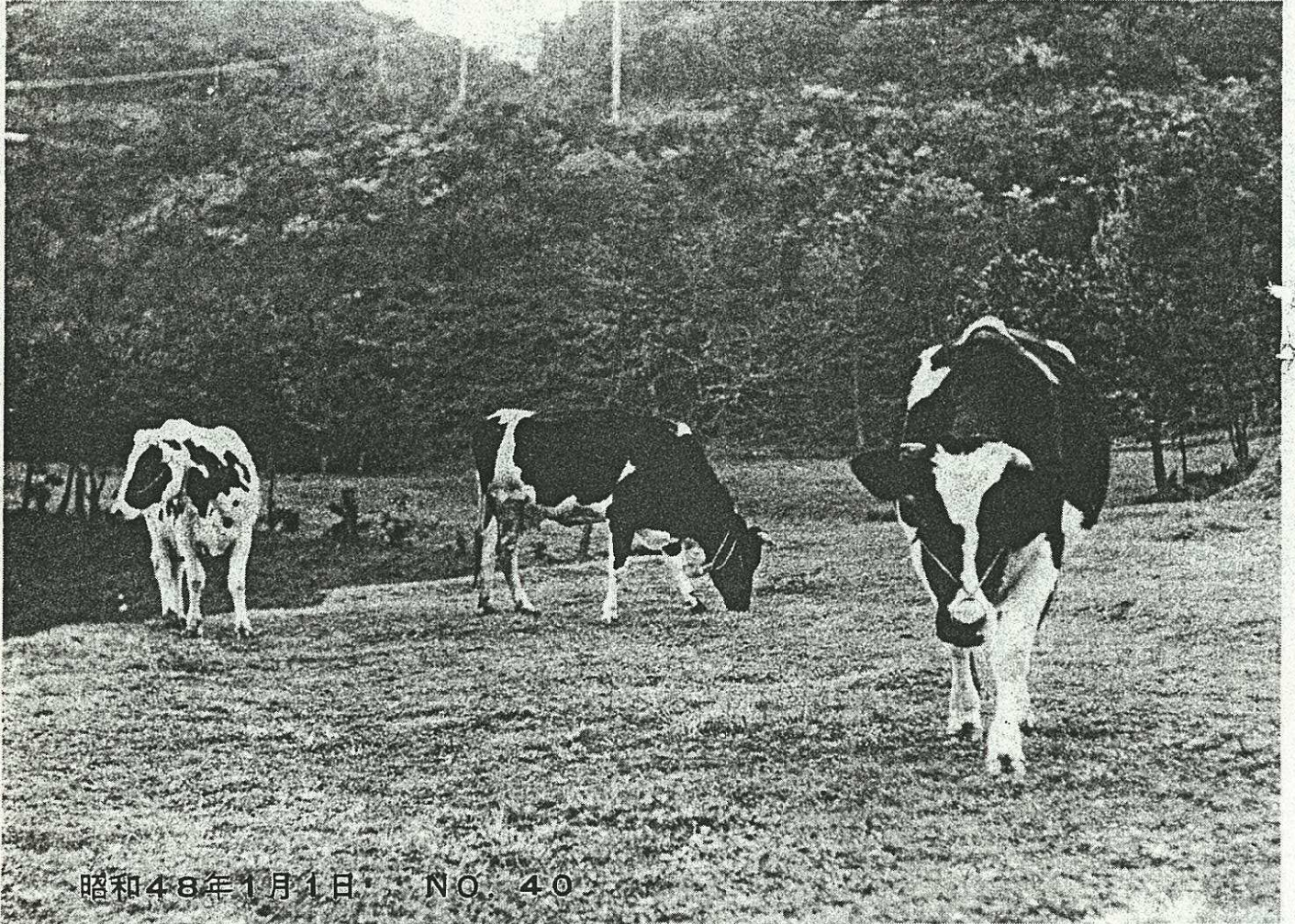


# 市議会だより

北九州市議会事務局



昭和48年1月1日 NO. 40

## 新春を迎えて

市民のみなさま、あけましておめでとうございませう。

新春を迎え、希望に満ちた力強い第一歩を踏み出されたこととお喜び申し上げます。

北九州市も発足以来、幾多の困難な諸問題を解決しながら豊かな町づくりを目指して着実に前進し、ここに十年目を迎えました。昨年は、懸案でありました新市庁舎の完成、また行政区再編成による七区制も決まり、十年目にしてようやくその基礎づくりを終えましたことは、ひとえに市民各位のご協力のたまものと心から感謝申し上げる次第でございます。

本年は、国においても新らしい施策の発足の年であり、本市も、新時代における百万都市にふさわしい本格的な都市づくりを進める重要な年であると考えます。

このときにあたり、議会人としての私共に課せられた職責の重大さをさらに認識し、市民福祉の向上と市政発展のため一層の努力を続ける覚悟でございます。

今後とも倍旧のご指導ご鞭撻をお願ひいたしまして年頭のごあいさつといたします。

元旦

北九州市議会

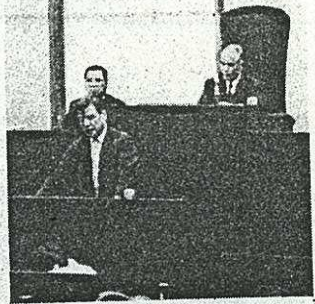
議長

松尾 武

副議長

増田哲夫

# 質疑応答



十二月一日から二日間  
本会議で十名の議員が議  
案に対する質疑や一般質  
問を行いました。  
以下、市民生活に関係  
深いものをとりあげまし  
た。

## 中国貿易振興のため

### 受入体制の充実を

**議員** 日中国交回復によって対  
中国貿易は飛躍的に伸びると考え  
られるが、九州各県、市におい  
ても積極的に取組んでおり、本市と  
しても将来の楽観は許されない。

港の繁栄は本市の産業経済の浮  
揚につながるものであり、本市の  
地理的条件を十分に生かし日中貿  
易の拠点としての地位を築くべき  
と思うが、港湾施設、輸送体系、  
定期航路の開設等对中国貿易振興  
についてどのような具体策をたて  
ているのか。

**市長** 港湾施設は、さきに米軍  
から返還された門司港の一・二号  
岸壁を对中国船の優先バースとす  
るため整備する予定である。定期

## 十二月定例会

十二月定例会は、十一月一日から  
五日間の会期で開かれ十二月五日終  
わりました。

審議された議案は、市長提出の昭  
和四十七年度補正予算を始め、条例  
の一部改正、行政区再編成にともな

航路は、北九州港を起点とされる  
よう中日備忘録貿易弁事処東京連  
絡処の肖向前首席代表に申入れて  
いる。なお、琉球海運が現在北九  
州と上海と沖繩の定期航路開設を  
考えている。

市としては中国貿易対策室を設  
置し、現在基礎的な調査、情報の  
収集等を行なっているが、港湾整  
備、領事館設置誘致、定期航路開  
設、業界への情報提供、貿易条件  
改善等に今後とも努力したい。

## 福祉行政の充実について

**議員** 福祉対策について次の諸  
点を聞きたい。

①老人医療費無料化の対象の拡  
大および敬老年金額引上げの考え  
はないか。

②老人いこいの家増設、維持管  
理費の全額市費負担の考えはない  
か。

③乳幼児医療費無料化を四十八  
年四月から実施する考えはない  
か。

**市長** ①所得制限の緩和、範囲  
の拡大を考えているが新年度予算  
編成の際にはつきりさせたい。敬老  
年金の増額も考えたい。

②増設はするが場所的な枠（二  
千平方メートル以上の公園内に設置）は  
一応そのまま、まず公園の増  
設を進めたい。自分たちで建設し  
たいとの相談を受けている所もあ  
るが、これには類似公民館なみの  
助成をしたい。維持管理費は新年  
度予算から裏付けをしたいと考え  
ている。

③さきに遅くとも四十九年一月  
から実施したいと述べたが、四十  
八年度後半から実施した方が事務  
的に混乱がないと考えている。  
まだ確定的なことではないが少  
しでも早くするよう検討したい。

## 救急センター設置

### の考えはないか

——救急医療対策——

**議員** 救急医療体制充実の重要  
性は、消防救急車による患者搬送  
の実績がはっきり示している。

特に休日の患者も多く、処置を  
一歩誤れば死につながるが、医  
師会の協力を頼るだけでなく、市  
民の要求に応えうる救急センター  
を設置すべきではないか。また、  
早急にできなければ、少なくとも  
他の指定都市なみに市立病院にそ  
の体制を作るべきではないか。

**市長** 医師会の協力を得て休日  
の救急医療体制確立を図ることに  
しているが、区の医師会によって  
色々と意見が違うためその調整に  
苦慮している。設置されている休  
日救急診療協議会との相談を早く  
まとめ、休日診療の実施をすみや  
かに図りたい。

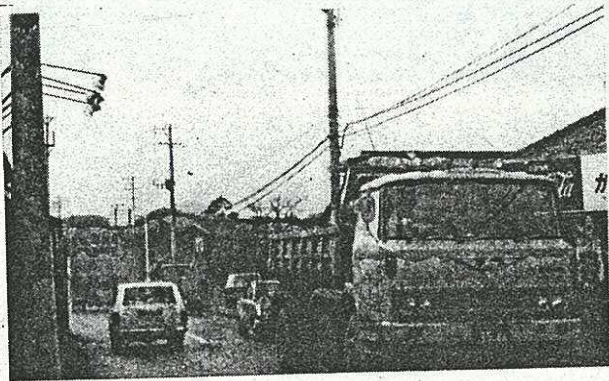
## 交通混雑対策を急げ

——県道門司港～苅田線——

**議員** 県道門司港～苅田線の混  
雑が著しいが、関門橋が開通すれ  
ば更に支障をきたすと思われる。

幹線五号計画があるが、特に混  
雑している畑吉志間だけでも開  
通を急ぐべきではないか。また、  
大里～恒見線も混雑しており、特  
に畑吉志間間は交通安全の点から  
歩道整備を急ぐ必要があるがど  
ういうようになっていくのか。

**建設局長** 幹線五号計画は、現  
在国道十号バイパスを起点として  
畑吉志間の区間について一部用地の  
先行取得を始めている。四十八年



混雑する門司港～苅田線（門司畑附近）

度から国の第七次道路整備五か年  
計画が予定されており、この中に  
予算の枠付けを要求し、今後は五  
か年計画による街路事業費、道路  
工事費の予算を合せ建設促進を図  
りたい。大里～恒見線の歩道は現  
在五か年計画で進めているが、通  
学路などはできるだけ優先的に進  
めたい。

## 香月地区の

### 開発について

**議員** 香月地区の開発計画案に  
よると、住宅地域には保育所、幼  
稚園、運動公園等の施設配置が予  
定されているが多人数を収容でき  
る施設は考えられていない。

道路計画も、主要道路は混雑が  
予想される国道二〇〇号線に接続  
され、そのほかは内部道路となっ  
ているが施設、道路問題について  
どう考えているのか。

また、抜本的な解決が必要とさ  
れる鉱害復旧、河川改修等をどう  
解決するのか。

**市長** 再開発について地域住民  
と話合ったが、住宅地としての開  
発希望が多く、それを受けて構想  
をまとめている。香月地区は他に  
くらべ開発が遅れており、他地区  
なみの水準に引上げることが当面  
の目標にしたい。

鉱害復旧も、障害となっている  
問題を早く解決し再開発を進めて  
いきたい。

**建設局長** 香月周辺は二〇〇号  
バイパス、九州縦貫道も決定して  
おり、これと関連をもちながら地

う新区役所建設工事請負契約締結など四十一件と公有水面埋立諮問三件および議員提出の決議案一件です。このうち四十四件は、それぞれ所管常任委員会に付託され慎重な審議が行なわれたのち、いずれも原案どおり可決しました。

決議案については委員会付託を省略し即決した結果、賛成者少数で否決しました。

また、特別委員会の中間報告、堀川水利組合議会議員の選挙も行なわれました。

区内主要幹線の整備を進めたい。八幡方面へは、二〇〇号バイパスの側面に八幡直方線が決定しており、バイパス用地の買収にあわせ用地の先行取得を進めるよう関係方面と折衝中である。

黒川などの河川改修は現在行なわれているが、単なる鉱害復旧ではなく地域開発を考慮した改修を進めて行きたい。

**自然保護対策を急げ**

— 国定公園平尾台 —

議員 平尾台はさきに北九州国定公園に指定されたが、指定区域外となっている西側は、鉱業権をもつセメント会社の石灰岩採掘によって無惨な姿となっている。また、台上には個人所有の土地も多く、指定外の土地の売却なども行なわれており今後も行なわれようとしている。このように国定公園のすぐ近くで貴重な自然が破壊されているが、自然保護が世論として高まっていることに、どのような対策を考えているのか。

市長 昨年これの保存対策についてユネスコのシンポジウムが

行なわれ、その際、採掘にあたっては自然をできるだけ破壊しないようにし、方法も自然との調和、景観をこわさぬよう配慮すべきであるとの一致した意見であった。この点については会社側も原則的に了承している。市民の関心も高まっており、今後とも会社側と協議し協力してもらおうよう努力したい。私有地問題は自然環境の保存と所有者の私権を尊重する点で矛盾があり調整に苦慮している。

**年度内に事業完成の**

見込みはあるのか

議員 公共事業の追加実施— 国の景気刺激対策を受け

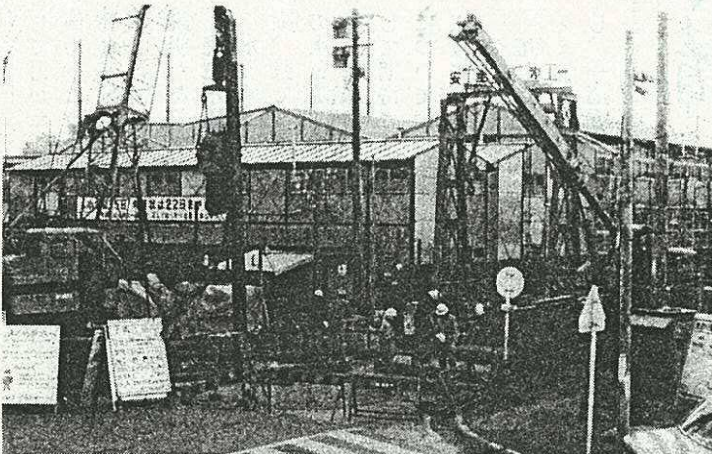
た公共事業中心の補正予算が組まれているが、年度末もせまっていることに、年度内に事業完成の見込みはあるのか。

また、下水道事業は、今回の補正を含め百三十二億円の大きな事業となるが、進められている工事で交通障害や環境の悪化をきたし市民は長期間にわたり危険や不便を受けている。工事は市民の利益を守りながら着実に、正確に進めるべきと考えるが、市長は下水道整備をどのように理解しているのか。

市長 本市の公共事業の実績は低く、さきに国の大型補正予算が決まったので、これを機会にできるだけ公共事業を行いたい。

こんどの事業はすべて予定していたもので、これを繰上げて行なうものである。消化には最大の努力をしたい。

急ピッチで進められている下水道工事



下水道整備は当初、計画どおり実施できるか心配していたが、予定より早く進んでいる。工事で市民に色々な不便をかけているが、住みよい町づくりのため、しばらく我慢をお願いしたい。

**徳力地区の区画**

整理事業について

議員 徳力地区の区画整理事業は四十八年度か

ら七か年計画で着工予定となっているが、地区住民から議会に対して事業反対の請願も出されている。施行にあたって住民との話し合いも行なわれていると思うが、住民の意向をどう把握しているのか。

また、過少宅地に対する減歩の取扱いはどう考えているのか。

市長 地元への説明はこれまで精力的に行なってきた。

また、現地には専従職員を配置し、住民の問合せに応じられる態勢にしている。

過少宅地については、区画整理事業の大きな問題の一つだが、法律上の制度として決められておりどうすることもできないので、減歩率相当分は各宅地の受益の範囲内で金銭で精算することをお願いしている。

**漁場などへの影響は**

心配ないか

— し尿の海洋投棄 —

議員 し尿の海洋投棄は今後十五カイリ以遠とされるが、投棄による海洋汚染、漁場などへの被害の心配はないのか。

また、海洋投棄をなくす計画はどうなっているのか。

市長 海洋汚染防止法の改正で四十八年四月から十五カイリ以遠（現行三カイリ）に投棄することになったが、本市では、これを一月一日から実施する。海洋浄化の見地からこれで完璧とはいえないが、藍島、馬島などの漁民に対する迷惑は今後ほとんどなくなると

思っている。

海洋投棄は四十八年度一はいでやめる予定であり、現在下水道、終末処理場の整備を進めている。

**公立幼稚園の建設を**

急ぐべきではないか

議員 市内に百二十一の幼稚園があるが、そのうち公立はわずか十二園で、特に若松、門司区には一か所もない現状である。

このため、園児の九十%以上が公立に比べ五、六倍も高い保育料の私立に通っているが、幼児教育としての幼稚園の必要性を認めるならば積極的に公立の建設を急ぐべきではないか。

また、公立との父母負担の格差をどのように是正しようとしているのか。

教育長 私立を無視し公立をふ

やす考えは現在とっていない。

若松、門司区には中期計画の中で建設を予定しているが、公立幼稚園は、私立幼稚園との調整をとりながら幼稚園教育のモデルということに主体をおき、そのモデルが近くにない所に設置するという考えである。

格差是正は、四十七年度から低所得者層に対する国庫補助制度を取入れ、さらに市独自の制度として通園補助（年額千二百円）の実施に踏みきったものである。

通園補助の額は少しでもふやすよう新年度予算編成の際検討したい。

# 常任委員会の 審査から

各常任委員会は十二月四日開かれ、本会議で付託された四十七年度補正予算案など四十四件を審議しましたが、いずれも原案どおり可決すべきものと決めました。おもな要望、意見はつきのとおりです。

## 総務財政委員会

ゴミ埋立用地として取得する門司区大字猿喰字軒子口の土地に関連し、この土地が、旧門司市時代に干拓事業によって造成され、増反施策として地元農家に有償配分されたものであるため、その経緯などについて質疑がかわされました。

たが、当局から「この土地は、曾根、新門司地区のゴミ埋立用地として得がたい格好の土地であり、価格もこれまでの経緯、周囲の状況など配慮を重ね、苦心のすえ取得しようとするものである」との説明がありました。

療機関でも治療方法を研究している医師がおり、本市で発生したことをなどを考えるときこれら医師にも研究費を助成すべきではないか」との意見がありました。当局から「研究は高度な医療体制が必要であり、専門家によるプロジェクトチームでの研究の方が十分な成果が期待されると思われるので個人への助成は考えていない」との説明がありました。

強く要望するとともに、その他関連道路も早急に整備し市場開設に支障がないように要望しました。

## 民生水道委員会

水資源確保に関連し、現在、国、県で企画されている筑後川等の水資源開発は、本市の水資源確保の抜本的解決につながるものとして期待されるので、これの促進について国に積極的に働きかけるように要望しました。

昭和四十九年度末開設を目標として建設予定の新中央卸売市場に関連し、開設時の周辺道路の混雑緩和対策などについて質疑がかわされましたが、予定されている北九州都市高速道路二号線、国道一九九号線の整備計画の早期完成を

## 文教建築委員会

仮称第二広徳小学校新築工事の工期延長について質疑がかわされました。理由について当局から、「学校進入道路をめぐる地主との話し合いの未解決、降雨による造成工事の遅れなどによるもの」との説明がありました。今後の用地取得、整地工事にあたっては地元民との協議を緊密に行ない、児童への影響も考慮し学業に支障をきたさぬように要望しました。

# 清願と陳情



## 請願

- 採択されたもの
  - 大辻炭鉱跡地を含む周辺地総合開発について
  - 新幹線建設に伴う緩衝地帯設置について(八幡区楠東地区)
  - 新幹線公害対策について(八幡区馬場山)
  - 降じん排煙ガスの規制について(門司区白木崎)
  - へい獣処理場の閉鎖または移転について(若松区頓田)
  - 日本炭鉱閉山に伴う離職者対策について
  - 養豚場の移転について(小倉区紫町一丁目)
  - 新手工川の堤防等の補修について
  - 市道認定について(若松区大池町)
  - 皇后崎公園の体育施設設置等について
  - 道路舗装等について(八幡区野面深田)

## 陳情

- 採択されたもの
  - 市道認定について(小倉区早稲田町四丁目)
  - 東谷川の堤防、護岸の改修と浚渫について
  - 市道認定について(八幡区楠橋虹ヶ丘)
  - 宮川の架橋について(八幡区陣原)
  - 排水路の整備について(八幡区楠橋下方)
  - 道路舗装等について(八幡区楠橋上方)
  - 松ヶ江北小学校伊川分校の移転改築について
  - 市営アパートの水道各戸メーター設置について(門司区長谷市管住宅)

## 請願

- 採択されたもの
  - 市有地の貸付けについて(小倉区横代校区)
  - 水道管の敷設替えについて(小倉区下道津四丁目)
  - 水道管の取替えについて(八幡区春日台辻畠、島野町)
  - 生コン工場の粉じん、騒音防止について(八幡区木屋瀬田町)
  - 長期結核患者に対する年末見舞の支給について
  - いせきの改良について(八幡区香月黒川流域)
  - 用水池の改修について(八幡区野面深田)
  - 道路舗装について(八幡区木屋瀬野面)
  - 市道認定について(八幡区祝町一丁目)
  - 中島川の護岸工事等について(若松区浅川)
  - ブロック工場の建設中止について(若松区高須)
  - 道路補修等について(八幡区上上津役馬場)
  - 地すべり防止について(八幡区熊手)
  - 道路舗装等について(八幡区上上津)

## お知らせ



議会にだされてある請願、陳情は本会議や委員会審議してきましたが、現議員の任期が二月九日に満了しますので、その日までに結論のないものは審議終了になります。なお、審議未了分は後日各提出者あてお知らせする予定しております。取扱いはついでご不審な点は議会事務局議事課(電話五八二二六二九)までお問合せ下さい

# 人事紹介

十二月定例会で次のかたがたが決まりました。  
堀川水利組合協議会議員 (敬称略)

## 可決された おもなもの

- △四十七年度補正予算
  - 一般会計の補正額 五十三億六千五百四十一万円
  - 公共事業(小中学校、土木施設の整備、公営住宅建設等)の追加実施など。
  - 普通特別会計の補正額 十六億九千九百九十八万円
  - 下水道建設事業費の追加。道路、街路用地の先行取得費の追加など。
  - 企業会計の補正額 八億六千二百八十一万七千円
  - なお、補正後の四十七年度予算は、全会計で総額千八百二十五億二千六百八十八万円になりました。
- △土地の取得
  - ごみ埋立用地 門司区猿喰字軒子口の土地十三万平方メートル。
  - 美術の森公園用地 戸畑区西鞠ヶ谷外の土地十萬平方メートル。
- ▽工事請負契約締結
  - 仮称総合会館の建設 工費二億八千万円
  - 小倉南区役所等の建設 工費二億七千万円
  - 八幡西区役所等の建設 工費一億九千万円
  - (以上いずれも四十九年三月完成)